

# 機械をチョコ停させない為のカートリッジ交換手順

対象ポンプ

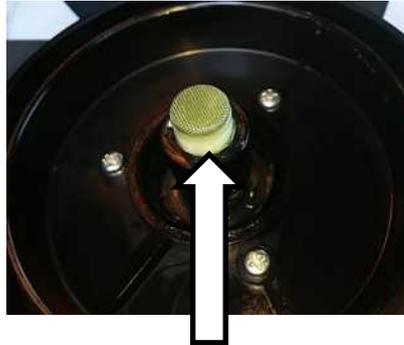


P102型 P202型  
P107型 P207型



型式を確認、指定品以外を使用しますと、ポンプ、機械部品が壊れます。

■カバーを取り、カートリッジを緩め、外す。



フィルター無き場合  
ご連絡下さい。

吸込み口に異物が付かないよう注意

■斜めに装着していない事を確認し、しっかり締め込み、空になるまで絶対外さない。



垂れ防止の中栓は絶対に外さない事



軽く止まるまで締め、  
その後45° 締め込んで下さい。

■カートリッジを装着した後、確認の為にポンプを強制的に運転させましょう！  
もしモニター上に潤滑アラームが出た場合はエア抜き手順参照してください。

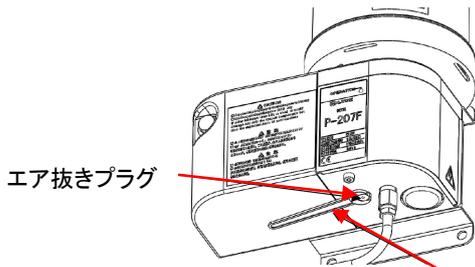
# 万が一エアが入ってしまった場合のポンプエア抜き作業手順



- カートリッジ内にエアが入るとすると下記4項目になります。
- ・カートリッジを伸ばし装着してしまった
  - ・カートリッジの締め込みが緩い
  - ・斜めに取り付けてしまった
  - ・途中で外してしまった

カートリッジ内にエアが入ってしまっている場合は新品へ交換下さい。

## ■エア抜きプラグを緩め、ポンプを強制運転。



スパナ 8mm



## ■指定グリス剤がエア抜きプラグから途切れなく吐出する事を確認し、プラグを締める。



強く締めすぎますと  
ねじが破損します。

2分程動作させても吐出しない場合、カートリッジ押しながら、再度2分程強制動作。



## ■処置後、確認の為にポンプを強制的に運転させて下さい。

処置後、復旧しない場合はお問合せ下さい。